

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成26年7月10日(木)午後7時30分～9時
会場	米沢公民館
地域座談会の内容(意見交換等の内容等)	
<p>① 市道西寒河江駅谷沢線(シェルターホームから西側へ300m先のY字路までの区間)の歩道が通学路になっており、冬期間は歩道除雪がされていないと子供達が、車道を歩いて危険な状態で通学しなければならないので除雪をお願いしたい。</p> <p>→ 当該歩道については早朝の一斉除雪の路線となっております。 引き続き通学路については優先的に除雪するよう努めてまいります。</p> <p>② 高松小学校の児童数が20年前の1/3まで減少していることから、学校が無くなってしまわないか心配なので、市の対策等を伺いたい。</p> <p>→ 今年から、都市計画マスタープランの見直しを行いますので、その中で区画整理や道路等の問題について、改めて検討することとしております。今、どこの市町村でも、人口対策が大きな課題で、それを達成するための施策を繋ぎ併せて対策を講じていかなければなりませんので、宅地造成が大きな柱になると思います。 これからの宅地開発については、大規模な開発でなく、小規模な宅地開発で10戸とか15戸とかをいたる所に造って行くことであり、これは、行政で行うよりも民間の事業者が自主的に行っていくことに対して行政も支援して整備を行う宅地開発が増えて、高松小学校がまた賑わうようなになればと思います。</p> <p>③ 米沢地区で、一昨年暮れから生活排水の工事を行ったわけですが、ポンプ小屋付近のT字路において段差まではないが、工業団地方面に行く車がバウンドするくらいの舗装の取付けが良くない所があり、ダンプから砂利等が落ちたり、堆肥がばら撒かれたりしたこともあるので直してもらいたい。</p> <p>→ 7月14日現場確認を行い業者に修繕を依頼しました。 8月中旬には工事完了予定となっております。</p> <p>④ 紅秀峰を作るには、佐藤錦の倍以上の手間暇に係るので大変なものなのですが、市長さんがトップセールで市場の方に行ったと思いますが、その市場の評価とか、今後これから推薦するに当たっての市場の状況をお聞きしたい。</p>	

→ 寒河江園芸試験場が作った紅秀峰であります。大粒で、糖度が高く、果肉がしっかりしているということで、これから温暖化の時代のサクランボとして大変期待しているところです。実際、農家の人にとっては、苦勞の多いサクランボでありますし、佐藤錦で疲れきった後で、また、暑いところ作らなければならない品種でありますから、大変苦勞しているのは重々分かっております。手を加えないと良いものが出来ないということでもあります。評価が悪ければ、私もこんなに頑張らないですし、大阪には6年間毎年行っておりますが、今年持って行ったサクランボは6年間で一番良い出来の紅秀峰でした。市場も大阪は暑くて遠い、大阪の人は甘いのが好きだから評判は毎年よいので早く持って来て下さいと、評価は高いです。また、硬いし、甘いし、長距離輸送が可能であれば、九州や海外展開も考えてまいりたいと思っております。

⑤ 学童保育について、平成25年度に10名でスタートして、現在26名（内4名が醍醐小学校）の子供さんがおります。地域の方々から大変喜ばれて、感謝されております。現在、高松小学校の1年生が22名で、その半数が学童保育に入所しました。この割合で増えていくとすれば、毎年増え続けることが予想されますが、広さが32畳なので、再来年あたりには狭くなって、どのようにすればいいのかと悩んでおります。ただ、学校内に或るということは、体育館、グラウンドなど使わせて頂けるので、大変理想的だと思います。今後、場所をどうすればいいのか、それとも、高学年は入れませんと制限をかけるなどについて、今後の見通しをお伺いします。

→ 私が、就任する前から高松地区に学童保育の要望がありまして、立ち上げようとしたが、子供さんが集まらず、4～5年かかり、昨年4月に立ち上げて10人でスタートし、あっという間に26人になったわけで、これから、まだまだ人数が増えていったらと心配する気持ちも分かりますが、増えた場合は市の方できちんと対応を考えさせていただきます。

⑥ 「ゆめタネ@さがえ」ですが、会場内の虹の丘に登っていた時に、70代の女性2人から声をかけられ、山形市内に住んでいる方で、左沢線を使って寒河江駅まで来たが、案内も、会場へのアクセスするバスも無く、会場まで歩いて来るのに何人かの人に聞いて来たとのことでしたので、駅に何かあればと考えたところです。また、駅には自転車があったようですが、自転車に乗れない高齢者でした。

→ ゆめタネでは申し訳ございませんでした。今年は終わってしまったので来年に向けての課題とさせていただきます。

今、慈恩寺の御開帳に、高松駅から行くというパンフレットなんかも作っていますが、電車の本数も少なくご苦勞をおかけしております。毎年JRの方に要望をしていますが、なかなか実現していないのですけれども、JR駅からの輸送手段というものを考えていかなければと思っております。そういう意味でタクシーなんかい

いと思いますし、通常料金でなく、その会場に行くと言を押してもらい割引になる。それが、お客さんが増える要素にもなっていると思います。大変貴重な意見を頂きまして来年の参考にさせて頂きたいと思います。

- ⑦ **地域見守りネットワークで福祉推進委員会の方が、高齢者の方を見守って下さるようになったのですが、それと合わせて子育ての若いお母さんの悩みとか、年金がもらえない年齢で体を悪くされた方が困っていますので、広い意見で高齢者だけでなく、赤ちゃんから年金を受け取るまでの就労とか、そういう方々の見守りと併せてお願い出来ればと思っていますところ。**

→ 見守りネットワークですが、高齢者だけでなく子供さんを含めた全体のようなお話でありましたが、高齢者の方を中心に地域福祉推進委員会方に協力して頂き、市内全地域にネットワークを作りたいと考えております。これからの若い人、子供達も含めて参考にさせて頂きたいと思います。

市としては、子供子育て支援センターが出来ているので、そういう意味で全体的な子育ての計画づくりをし、今ハートフルセンターの中にいろんな相談窓口というのがあります。

また、定員に満たない保育所がありますので、そのような施設に子供たちの相談窓口的なものを、何か所か作って支援するセンターなどかどうかと、検討しているところであります。

- ⑧ **米沢地区の下水道・浄化槽についてですが、以前西部地区には下水道がこないと聞いていまして、そのために浄化槽を奨励していると聞いているのですが、その現状をお聞きします。**

→ 下水道の問題については、これまで市内に第1次計画としてのエリアがありましたが、第2次計画でエリア拡大について検討しましたが、予算等もありまして、これまでのエリアを拡大しないことになり、高松・白岩・柴橋地区には公共下水道を整備するのではなく、合併浄化槽を普及していくとしております。

今までの合併浄化槽は、個人が設置するものでしたが、市が推奨しているのは市町村合併型の合併浄化槽で、設置・管理を市がすることになり、家庭では使用料金を公共下水道と同じシステムで、支払って頂くということになります。

現在、合併浄化槽は、排水管の整備を行いながら合併浄化槽を普及していくことにしています。そして、各地域の皆さんにご説明を申し上げ、希望を取りながら毎年整備を行っているのが実態であります。

合併浄化槽を設置していらっしゃる方もいると思いますので、市町村設置型に切換えたい場合は申し出て頂きたいと思います。

また、地域の中では何回か説明を開催していますが、是非、もう一回聞いてみたいという事であれば、市の方からお邪魔して説明をさせて頂きますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

⑨ 工業団地の企業誘致についての現状についてお聞きしたいと思います。

→ 工業団地については、小さい所は売っていますが、大きいところが売れていないので残っています。市も努力をしている最中であります。

県の東京事務所に職員を派遣して企業誘致活動に当たらせて情報を収集し、私も企業を訪問しておりますが、小さい契約は2, 3つありますけれども大きい契約には至っていない状況であります。

⑩ 介護のことについてであります、これからは介護されなくても良い身体に今からやっていかないと、皆、病気になって病院に掛かってしまつては医療費も掛かり、介護保険だけでは、足りなくなってしまうのではないかと思うので、健康なうちに、歩ける身体、認知症にならないような老後を過ごせる身体づくりについて、ご指導いただきたい。

→ 日本人の平均寿命は、大変長い人種ではあります。健康寿命というのが今言われておまして、平均寿命と健康寿命の差が無い方が良いと言われております。いつまでも健康で長生きをしていくということになると、介護予防を自ら取り組むということが必要でありますし、お年寄りも取り組んでいただくことが色々な福祉経費の削減にもなるかと思ひます。

すこし楽しくやれる事業なんかも必要なかと思ひまして、今年、高齢者在宅福祉事業のなかで、高齢者のポイント制度事業を取り組ませて頂きました。65才以上の方がボランティア活動をしたり自分から介護教室に通つて健康づくり・予防づくりをしたときにポイントが貰えます。登録して頂くことになりまふけれども、今108人の方が登録して、施設に行つてポイントを貰つています。ポイントがたまると商店街が発行しているほくほく券と交換できることを楽しみながら、介護予防づくりをしていただけるような事業を行つております。今スタートしたばかりなので、登録してカードを貰つて、是非参加して頂いて、そのポイントは翌年まで繰り越しができますので、楽しみながら活動等をして頂いて、健康で長生きして頂ければと思ひますので、是非やつてみたい方は、健康福祉課に電話を頂ければ連絡させていただきます。なお、チラシが有りますので、宜しくお願ひします。また、4月号の市報に掲載しておりますのでよろしくお願ひします。

⑪ 米沢地区の長い間の要望で、米沢第一踏切のことについてであります、遮断機が下りてから待ち時間長く、朝の通勤等の車が踏切から100m位渋滞しているのが現状です。JRの回答は、毎年予算が無くてだめだということです。この様な回答を毎回繰り返しているようでは、会社としてのサービスが欠如しているのではないか思われます。市としてもJRに対する対応を望みたい。

→ その件も含めて毎年何項目か要望を出しているうちの1つであります。私は、左沢線対策推進協議会の会長をしている関係で、沿線の各自治体からの要望を纏

めて要望させていただいております。その中で、米沢踏切の時間を短縮してもらいたい、それから午後から列車のない時間帯があるので、運行してもらいたい等毎年要望しているがなかなか実現できないので、別の方法を色々考えていかなければと思っています。また、毎年同じ解答では、我々も納得できないところがありますので、更に強くお願いをしていかなければならないと思っています。

左沢線の8割は通学列車であります。子供達が少なくなって来ておりますから、左沢線の利用も少なくなって来ていると思うのです。左沢線は、基本的にはもう少し活性化をして、大人の人が乗るようにして行かないとだんだんジリ貧になっていくだけなので、そこは我々沿線の自治体も知恵を使って行かなければと思います。そういう意味で利便性を図り、地域の人達も利用しやすい左沢線にして行くということを踏まえて対応していかなければと思います。踏切の件とは違うかもしれませんが、柴橋駅の利用が極めて少ないというということで、駅を移せないか前からありますが、JRも予算を伴うということもありまして、実現が出来ないようでありまして、何とか、左沢線を残していく算段を考えて行きたいと思っておりますし、地域の皆さんからもご支援していただければと思います。今、慈恩寺なんかも大勢の人が来ているので、そういう意味では高松駅などももっと利用していただけるような工夫も必要なのかと思っておりますので、今まで以上に強く要望させていただきます。

⑫ 来年の3月で農業高校が廃校になることによる跡地利用についてでありますが、当面は大江町の学校から来て、実習するわけですが、総合学科の中で希望者がいなくなれば、そこは何もしなくなるのではないかと。その跡地を庄内にある元気塾とか、農業を研修する場として利用するのも一つではないかと色々考えているのですが、市としての考えをお聞きしたい。

→ 来年で子供達がいなくなるわけですね。体育館・集会室が新しいので残して行くようですが、外のところは耐震に問題があるので、何れ解体され利用できなくなるのが想像できるのですけども、市としては、西郡から農業を学ぶ子供たちの施設がなくなるということは地域の農業の将来にとってもマイナスだと思っておりますから、何らかの形で農業を学べるような施設を残してもらいたいと思っておりますし、市が出来ることがあればそういった施設を造っていきたいと考えているのであります。ざっくりばらんに言うと、特別支援の小学校を高松に造って、農業校舎を使わなくなるのであれば、あそこでどうかと暗に申しあげておりまして、地域の皆さんも反対もしなかったもので、県の教育委員会に申し上げておりますけれども、改修するのに10億円掛かるということで、県では中々できないということもありまして、だから、今のような状況になっているのであります。ただ、地域の皆さんが寄付をして建てた学校だという意識も強い農業校舎でもありますから、地域の皆さんの思いを汲みながら、県の教育委員会ともお話を進めていきたいと思っておりますので、来年以降のあり方について、予算等も有りますので、市の考え方を整理して、県の意向を踏まえて、地域の皆さんの意向が叶うような方向で残していければと思っております。

